

# 第 32 回市民とともに考える救急医療シンポジウム

## 知っておくべき災害医療～明日くるかもしれない大災害に備えて～

### 概 要



令和 5 年 9 月 2 日午後 2 時から、船橋市勤労市民センターにおいて、「第 32 回市民とともに考える救急医療シンポジウム」を開催しました。

今年のテーマは「知っておくべき災害医療～明日くるかもしれない大災害に備えて～」。277 人が来場し、盛況のうちに終了いたしました。

また、同会場内では、船橋市消防局による「救急フェア」も開催いたしました。心肺蘇生法体験コーナーでは、多くの方々にもしもの時の対応方法を学んでいただきました。

《心肺蘇生法体験コーナー（ホール前）》



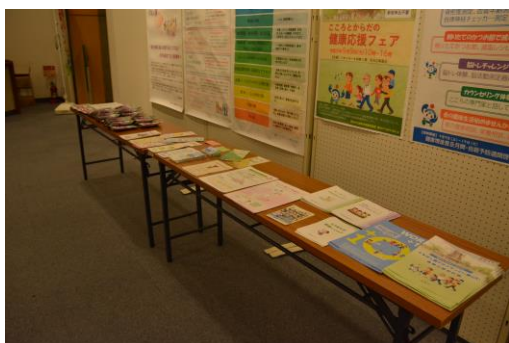
《心肺蘇生法体験コーナー（展示室）》



《啓発コーナー》



《パネル展示コーナー(展示室)》



## 救急医療シンポジウム

- (大会会長) 松戸 徹 (船橋市長)
- (実行委員会委員長) 寺田 俊昌 (船橋市医師会 会長)
- (総合司会) 早川 淑男 (船橋市自治会連合協議会 会長)
- (基調講演講師) 嶋村 文彦 (千葉県救急医療センター 副病院長・千葉県健康福祉部技  
監・千葉県災害医療コーディネーター・統括 DMAT)
- (基調講演座長) 蘇我 孟群 (船橋市立医療センター 救急科部長)
- (シンポジスト) 黒川 進之助 (船橋市消防局救急課救急第二係 救急救命士)
- 佐藤 やよい (船橋市立医療センター 外科副部長・統括 DMAT・  
都道府県災害医療コーディネーター)
- 梶原 崇弘 (船橋市医師会 二次救急・災害担当理事)
- ※敬称略

## 救急フェア

船橋市消防局

(実行委員会構成団体)

船橋市医師会、千葉県看護協会船橋地区部会、船橋市自治会連合協議会、船橋市 PTA 連合会、  
船橋市全婦人団体連絡会、船橋市老人クラブ連合会、船橋商工会議所、船橋市赤十字奉仕団、  
船橋市社会福祉協議会、船橋市消防団、船橋労働基準監督署、船橋市、船橋市消防局、  
船橋市教育委員会



## 開会セレモニー

### 総合司会 早川 淑男 (船橋市自治会連合協議会会長)



皆様、大変長らくお待たせをいたしました。本日はお忙しいところ、またお暑期中、このように多くの皆様にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまより、「第32回市民とともに考える救急医療シンポジウム」を開催いたします。

私、本日の進行を務めさせていただきます本シンポジウム実行委員会副委員長をしております早川淑男と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。(拍手)

また、本日、手話通訳と要約筆記は、船橋市福祉サービス公社の皆様をお願いいたしております。よろしくお願ひをいたします。

ご案内のとおり、この「市民とともに考える救急医療シンポジウム」は、市民に対する救急医療への意識の向上、また心肺蘇生法の普及啓発を図ることを目的といたしまして、平成元年より開催をいたしております。この3年間、残念ながら新型コロナウイルスの影響によりまして中止を余儀なくされてまいりましたけれども、今回、4年ぶりに開催の運びとなりました。

このシンポジウムでは、船橋市の救急医療体制についての紹介を行うとともに、それぞれの時節に合った様々なテーマを取り上げて開催をいたしております。

第32回となる今回のタイトルは、ご案内いたしましたとおり、「知っておくべき災害医療～明

日くるかもしれない大災害に備えて～」でございます。

昨今、地震や大雨、台風などによる被害がメディアで大きく取り上げられるようになっております。船橋市を含む南関東地域の首都直下では、今後30年以内に70%の確率でマグニチュード7程度の地震が発生するとの予測がございます。

私たちは、30年以内という、ずっと先のようには思いがちですが、明日来るかもしれません。災害が発生した際、一人一人が正しい行動を選択できるようにするためには、災害医療に関する適切な知識をあらかじめ身につけておく必要がございます。

くしくも、昨日、関東大震災100年の節目となりました。今回の救急医療シンポジウムは、誠に時宜を得た開催となったと思われまふ。災害時の備えとして、本日は皆様と共に学び考えてまいります。よろしくお願ひいたします。

それでは、まず開会に当たりまして、大会会長であります松戸徹 船橋市長からご挨拶をお願ひいたします。

市長、よろしくお願ひいたします。(拍手)

### 大会会長 松戸 徹 (船橋市長)



皆様、こんにちは。

第32回を迎えました「市民とともに考える救急医療シンポジウム」、4年ぶりの開催となりま

したけれども、こうして多くの皆様にご参加いただきましたことを、私どもとしても大変心強く思っております。

この救急医療シンポジウムについては、今司会をお願いしている早川自連協会会長から、縷々お話がございましたけれども、船橋市では、救急医療だけではなく、地域医療の体制について、長年様々な取組が、医師会を中心として継続的になされております。特にこの救急医療シンポジウムも、その時々テーマを選定してやることで、地域医療の充実にも大きな貢献をいただいております。

そして、今回、災害医療について、テーマとさせていただきますけれども、災害医療は通常の医療と全く違った状況の中で、軽症の方から重篤の方まで対応していかなければいけません。救急搬送から受け入れる病院前の救護所を含めて、いろいろなシチュエーションの中で取組をしていくわけです。そのときに、医療体制として整えることはもちろんですけれども、一番大切なことは、災害時に怪我をした方が、どういった心構えで、災害医療というのはどういった状況の中で行われるのか、そのご理解をいただくことが何よりも重要になってまいります。

今回は、シンポジウムの後で千葉県救急医療センターの副病院長の嶋村文彦先生をお願いをいたしております。嶋村先生は、後ほど講演の際に詳しくご紹介があると思っておりますけれども、千葉県の救急医療の第一人者としてご活躍をしておられます。また、船橋市も医師会の中で救急医療の関係、災害医療の関係は、ドクターの皆さんがいろいろな想定をしながら準備をしております。

今回の救急医療シンポジウム、何と云っても、今日こちらにおいでいただいている皆さんはもちろんですけれども、こちらにおいでいただけない方にどうやって伝えていくかが非常に大きなこととなります。今回ご参加いただいた

皆様には、戻ってからご友人の方とかご家族、ご近所の方に、「今日、こんな話があったよ」「災害のときには、いつもと違う体制で治療を行うことになるよ」ということを、ぜひお伝えいただければと思います。

このシンポジウムの開催のために、本当に様々な形でご尽力をいただきました医師会の寺田会長をはじめ、様々な団体の皆様に心から御礼を申し上げますとともに、今日ご参加いただいた皆様が、船橋市の救急医療、そして地域医療のためにも、ご理解をいただく中でお力添えをいただけますことを心からお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

これからもよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。(拍手)

#### 総合司会 早川 淑男

市長、ありがとうございます。

続きまして、今回の救急医療シンポジウムの実行委員会委員長であります船橋市医師会会長の寺田俊昌先生から、ご挨拶をお願いいたします。(拍手)

#### 実行委員長 寺田 俊昌(船橋市医師会 会長)



皆様、こんにちは。

多くの人にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。このシンポジウムに開

することは、大体、最初の挨拶で松戸市長が全部しゃべっちゃうので、私からは、いつもご挨拶だけであまりお話をしないのですが、人口 65 万人いる船橋市の中で、ここにいらっしゃる方はたった 300 人ぐらいなんです。ですから、残りの 64 万人に、ここにいらっしゃる皆様が「船橋の医療体制はこうだよ」、それから「救急のときはこうするんだよ」と、みんなに教えていただきたいと思います。それが、船橋市の救急医療だと思っています。

これはチーム医療ですからね。医師会も協力しますし、皆様方のご協力も必要だと思います。よろしくお願い申し上げます。(拍手)

#### **総合司会 早川 淑男**

ありがとうございました。

それでは、お二人の方、下に席を設けておりますので、ご移動をお願いいたします。(拍手)

これよりステージにて、シンポジウムの部の準備を行います。この間を利用いたしまして、本日ご来場いただいている方々を改めてご紹介させていただきます。

ただいまご挨拶を頂戴いたしました松戸徹市長です。改めまして、よろしく願いいたします。

西水 徹 副市長でございます。

杉田 修 副市長でございます。

続きまして、救急医療シンポジウム実行委員会のメンバーを紹介させていただきます。

委員長は、先ほどご紹介、ご挨拶をいただきました寺田 俊昌先生です。

実行委員の皆様といたしまして、船橋市医師会副会長の土居 良康先生。

同じく、船橋市医師会理事をしていただいております高木 康博先生。

同じく、船橋市医師会理事をお願いしております梶原 崇弘先生。

同じく、船橋市医師会理事 鶴田 好彦先生です。

続きまして、

船橋商工会議所専務理事 宮津 隆久さんです。

船橋市赤十字奉仕団委員長 渡邊 千代美さんです。

船橋市社会福祉協議会常務理事 小出 正明さんです。

船橋市労働基準監督署署長 吉田 明生さんです。

船橋市立医療センター救命救急センター長 角地 祐幸先生です。

船橋市教育委員会保健体育課長 吉田 浩一さんです。

船橋市消防局長 澤本 保敏さんです。

船橋市消防局救急課長 松岡 利満さんです。

船橋市健康福祉局長 大竹 陽一郎さんです。

船橋市健康福祉局健康部長 高橋 日出男さんです。

そして私、実行委員会副委員長を務めさせていただいております船橋市自治会連合協議会会長の早川 淑男です。よろしく願いいたします。